

地域自慢

玉里のよさを見つけよう

玉里小学校 第3学年

レンコン

玉里小学校の学区には、霞ヶ浦があります。霞ヶ浦に近いところには、レンコンを作っているハス田があります。ハス田は、お米を作る田んぼより、とても深くて、深さが1mくらいあります。

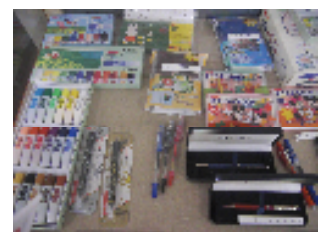
ハス田からレンコンをほり出すときは、どろの中からほり出すので、水を使ってどろを取りながらほり出すそうです。ほり出したレンコンは小さな船のようなものに乗せて、ハス田から運び出します。できたレンコンは、JAに集められて、トラックで東京やいろいろな所へ出荷しているそうです。私たちの学校の給食にもレンコンを使った料理がときどき出されます。



ぺんてるの工場

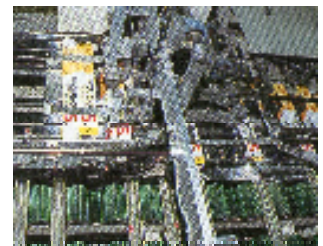
玉里の工業団地には、いろいろな会社の工場がたくさんあります。

ぺんてるの工場では、絵の具やえんぴつ、いろいろなペンなどたくさんの種類の品物をつくっているそうです。大きな機械がいくつもならんでいて、材料が機械の中を流れていくと、いつのまにかサインペンができて上がっていました。絵の具は、大きな入れ物の中で、材料をまぜ合わせて作っていました。また、ぺんてるの工場では、エコ活動をしているようで、工場で働いている人からアイデアを集めて、仕事に役立っているそうです。



クレハの工場

クレハの工場では、ラップやマヨネーズの容器など、プラスチックでできたものをたくさん作っているそうです。工場の中には、たくさんの大きな機械がならんでいました。ラップは、ラップの材料を風船のように大きくふくらませて、うすいラップの風船を作り、それをラップのしんに巻きつけていました。



《感想》

私たちが住んでいる玉里では、給食で食べているレンコンや学習に使っている絵の具やえん筆など、生活になくってはならない必要なものをたくさん作っているんだな、すごいな、と思いました。他にもどんなものを作っているのか、調べてみたいと思います。